

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期		資質成長期		資質充実期		深化発展期		専門研修	
	指標資質能力	授業力		生徒指導力		子供理解	学校を支える力	教育への情熱	たくましく 豊かな人間性	自己研鑽力	
		保健管理力	保健教育力	健康相談及び 保健指導力							
		リーダーとしての 基本的な素養	学校経営能力	組織管理運営能力	外部連携能力	人材育成能力					

希望	研修	選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
----	----	-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C1800	学校保健課題解決研修 ～行動科学を活用し学校保健課題を解決する～	申込必要 [定員 100 名]
-----------	-------	-------------------------------------	--------------------

目的・ねらい	各校が抱える学校保健の課題解決に向けて、最新の知識や情報を取り入れると共に、自らの実践を振り返り今後の学校での取組の充実を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

7 月 28 日 (月) 会場: 総合教育センター		
	講義・演習	効果的な健康教育～ナッジで自ら動く健康づくり～ 講師:青森大学 客員教授 竹林 正樹 氏
事前・事後の eラーニング (詳細はシステム参照)	事前研修	令和6年度健康教育指導者養成研修(保健教育)の伝達講習

【PR・連絡等】

児童生徒の心身の健康課題は複雑化・多様化しており、解決を図ることが求められています。健康課題の解決に向けては、養護教諭だけではなく、全ての教職員や関係機関等と連携して取り組む必要がありますが、保健活動において、対象者の行動変容を支援することは容易ではありません。 近年、行動変容を支援する手法としてナッジ(Nudge)という行動科学の理論が注目されています。ナッジとは英語で「人々を強制することなく、望ましい行動に誘導するようなシグナルまたは仕組み」と定義されています。「運動をすること」や「規則正しい生活」など健康の大切さを分かっているにもかかわらずなかなか行動に移せない児童生徒に対する支援の手法について学び、学校における効果的な保健指導の充実を図ります。学級担任や養護教諭等、多くの先生にお勧めする研修会です。 ※本研修は事前にeラーニングシステムによる動画の視聴が必要となります。[研修内容]を参照の上、事前視聴を行ってください。
--